

点検検証部会長の交代について

統計委員会委員長 西村清彦

第131回統計委員会（平成31年1月30日開催）において、基幹統計及び一般統計調査における不適切事案の発生防止及び統計の品質向上に資する点検検証を行う点検検証部会長に川崎茂委員を指名しましたが、本日、同部会長を河井啓希委員に交代していただくこととしました。川崎委員は部会構成員として、下記の条件の下で審議に加わっていただくこととします。

川崎茂委員については、今般の部会審議において求められる公的統計に関する知識・経験を有していることから部会長に指名したのですが、部会運営においては高度の中立性が求められることから、同委員の経歴を考慮して、中立性に関して無用な疑念の生じることのないよう、部会長を交代していただくこととしたものです。川崎委員は、平成19年から平成23年まで総務省統計局長を務めるなど、統計の専門家として公的統計の業務に従事した経歴を有しています。同委員は、公務を離れて7年余りが経過しており、中立性に関する問題が生じることはないと考えていますが、より厳正に中立性を確保する観点から、同部会に設置されるワーキンググループの運営において、同委員は、総務省所管の統計に関する審議には参画させないこととしました。

統計委員会としては、従来から中立性、独立性を確保しつつ、専門的見地から審議・検討を行っており、今般の点検検証部会の運営においては、このような姿勢をさらに徹底していく所存です。